

平成二十八年 度 江戸川看護専門学校 入学試験問題

国 語 (二次試験)

注 意

1. 指示があるまで開かないこと。
2. 試験時間は五十分とする。
3. 受験番号、氏名を解答用紙に正確に記入すること。
4. 解答はすべて解答用紙に記入すること。
5. その他の注意事項は、試験官の指示に従うこと。

一

次の①～⑮の各文中の傍線部のカタカナを漢字に直せ。

- ① オン健けんな思想。
- ② カン急自在な話しぶり。
- ③ 時ときコこクく表ひょうを見る。
- ④ ガイがい当とう者は申し出よ。
- ⑤ 解かいシしャゃクくと鑑賞。
- ⑥ 選せんタたクく科目。
- ⑦ 異常カかツつ水。
- ⑧ カかツつ色しきに濁る。
- ⑨ ボウぼう績せき工場こうじょうを営む。
- ⑩ 守備ボウしゅびぼう害がいで進しん塁。
- ⑪ 海うみをナなガがめる。
- ⑫ 新聞しんぶんにノのる。
- ⑬ ショしよシンしん表ひょう明めい演えん説せつ。
- ⑭ 力ちからのキンきんコこウ。
- ⑮ 橋はしをカかける。

三

次の①～⑩のことわざに関連の深い四字熟語を後のア～コの中からそれぞれ選び、記号で答えよ。

- ① 目は口ほどにものを言う
- ② 幽霊の正体見たり枯れ尾花
- ③ しり馬に乗る
- ④ のれんに腕押し
- ⑤ 手前味噌を並べる
- ⑥ 二階から目薬
- ⑦ 先んずれば人を制す
- ⑧ 備えあれば憂いなし
- ⑨ 身から出た錆
- ⑩ 歲月人を待たず

- | | | |
|--------|-------------------------------|----------------------------|
| ア 自画自賛 | イ 以心伝心 | ウ 用意周到 |
| エ 馬耳東風 | オ 隔靴搔痒 <small>かつかさうよう</small> | カ 疑心暗鬼 |
| キ 先手必勝 | ク 付和雷同 <small>ふわいどう</small> | ケ 無常迅速 <small>じんそく</small> |
| コ 自業自得 | | |

二

次の①～⑩の各文中の傍線部の漢字の読みをひらがなで記せ。

- ① 目が粗こい。
- ② 他に秀ひででる。
- ③ 弱者を虐あげらる。
- ④ 流行が廃しやれる。
- ⑤ 自分を戒いめる。
- ⑥ 厳いかな式。
- ⑦ 朽くち葉色。
- ⑧ 戯あそれの恋。
- ⑨ 一家言
- ⑩ 不文律

四

次の①～⑤の各文中の空欄に入れるのに最適なものを、それぞれ後のア～オの中から選び、記号で答えよ。

- ① () をさる…数人いる中で最初に発言する。
 ② () をさる…戦いや試合などを開始する。
 ③ () をさる…自分自身で負担する。
 ④ () をさる…鋭いことばでまくし立てる。
 ⑤ () をさる…惜しげもなく大金を使う。

- ア 札さつびら
 イ 口火
 ウ 啖たん呵か
 エ 身み銭ぜに
 オ 火蓋ひふた

五

次の①～⑤の各説明文に該当する作品名を後のア～オから、作者名をa～eからそれぞれ選び、記号で答えよ。解答欄には作品名・作者名の順に記すこと。

- ① 写実主義を唱えた最初の近代的小説論。
 ② 言文一致体で書かれた最初の近代写実小説。
 ③ 日本で初めて書かれた自然主義の文学。
 ④ 写生を唱え、和歌の革新を論じた歌論。
 ⑤ 口語自由詩を完成した詩集。

(作品名)

- ア 破戒
 イ 小説神髓
 ウ 月に吠える
 エ 浮雲
 オ 歌よみに与ふる書

(作者名)

- a 島崎藤村
 b 二葉亭四迷
 c 坪内逍遙つぼうちしやうよう
 d 正岡子規
 e 萩原朔太郎はぎわらさくたろう

六

次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

著作権の関係により掲載不可

著作権の関係により掲載不可

著作権の関係により掲載不可

著作権の関係により掲載不可

(内山節『時間』の十二章による)

問一 傍線部⑦～⑩は熟語の一部であるが、これにあたる漢字を含むものを、次の各群の1～5のうちから、それぞれ一つずつ選べ。

のを、次の各群の1～5のうちから、それぞれ一つずつ選べ。

⑦ カダイ

- 1 いとこはガンカ_カの医者である
- 2 隣の家はザツカ_カ家であった
- 3 彼のニツカ_カは散歩である
- 4 人々はスンカ_カを惜しんで働いた
- 5 この食品はテンカ_カ物を含まない

⑧ クンリン

- 1 巨大な建造物がリンリツ_{リン}していた
- 2 彼の行動はリンリ_{リン}的に問題である
- 3 キンリン_{リン}諸国への影響が心配だ
- 4 車のコウリン_{リン}が歩道に乗りあげた
- 5 予定外のリンジ_{リン}収入があった

⑨ ソウシツ

- 1 彼は意気ソソウ_{ソウ}したようだ
- 2 シヤソウ_{ソウ}から海が見えた
- 3 犯人のソウサク_{ソウ}が行われた
- 4 彼女のチャクソウ_{ソウ}は素晴らしい
- 5 世の中がブツソウ_{ソウ}になってきた

⑩ ショウヒン

- 1 噂のダイシヨウ_{ショウ}は大きい
- 2 帳簿をショウゴウ_{ショウ}する
- 3 兄はシヨウサイ_{ショウ}にたけている
- 4 隣家へのルイシヨウ_{ショウ}は免れた
- 5 彼の発言はシヨウキョク_{ショウ}的だ

⑪ ヒヨウメイ

- 1 現代をヒヨウジュン_{ヒョウ}に考える
- 2 途中経過をコウヒョウ_{ヒョウ}した
- 3 船が島にヒヨウチャク_{ヒョウ}した
- 4 そのヒヒョウ_{ヒョウ}は正しい
- 5 トウヒョウ日_{ヒョウ}は一週間後だ

問二 文中の空欄ア～エに入れるのに最適なものを、次の中からそれぞれ選び、番号で答えよ。

- | | | | | | |
|---|------|---|------|---|------|
| 1 | むしろ | 2 | しかも | 3 | あるいは |
| 4 | すなわち | 5 | なぜなら | 6 | もちろん |
| 7 | ところが | 8 | そして | | |

問三 傍線部A「他の何者にも干渉されない自分だけの時間をもったこ

とを意味する」とあるが、これは日常の具体的な場面に即して考えるとすると、どのようなことであると考えられるか。その説明として最も適当なものを、次の1～5のうちから一つ選べ。

1 夜間の会合に供えて私は、夕食の支度が出来るまでのわずかな時間を利用して仮眠を取った。

2 家族の者と顔を合わせるのがきまづく感じられた私は、朝食を取らずにそのまま学校へ出かけた。

3 人見知りをする性格であった私は、作業場でも保田の人々からなるべく離れて、黙々と仕事に打ち込んだ。

4 早起きの苦手な私ではあったが、この夏は家族の負担を減らすため、積極的に水汲みに出掛けた。

5 私は、毎日、父の書斎から難しそうな本を持ち出してきては、自室にこもって明け方まで読みふけた。

問四 傍線部B「時間は普遍的な存在ではなく、個別に終了していく」

とはどういうことか。その説明として最も適当なものを、次の1～5のうちから一つ選べ。

- 1 近代人の時間は、共同社会内に存在する共通の時間から独立したものであり、他者の所有する時間存在とは個別に個人の死をもって消滅することになるということ。
- 2 一人一人の所有する時間の長さは生まれ落ちた時から決まっており、近代人であってもその制約を越えて生を長らえることは不可能であるということ。
- 3 近代人には人の生が永遠に続くなどという発想はとうてい受け入れられないものであり、限りある生を意識した状態で一生を送ることになるということ。
- 4 近代人が個人個人で時間の所有と管理を行うようになったのがきっかけとなり、共同社会から時間存在の共通性が次第に失われるようになったということ。
- 5 近代的市民社会においてはそれぞれの人によって時間に対する感覚が微妙に異なっており、一日が終わるのを長く感じる人も短く感じる人もいるということ。

問五 傍線部Cについて、筆者はなぜ「近代において成立した固有の時間」が「時計を基準にする絶対的な時間世界に支配され」ていることを「自己矛盾」というのか。その説明として最も適当なものを、次の1～5のうちから一つ選べ。

- 1 個人の自立の基礎であり、近代市民社会の理想である「固有の時間」が確立されるにつれ、人々の関係的な時間に対する思慕も高まりを見せるという事態が出現したから。
- 2 近代人の中には「固有の時間」こそが自由な生活を保障する基盤になるという共通理解があったが、その共通理解に反し、その時間に人が従属させられるという結果が生じたから。
- 3 関係的な時間から脱することで成立したのが「固有の時間」であったはずだが、この個人が所有した時間も結局は時計時間という共通の時間世界を必要とするものであったから。
- 4 他者との時間の共有状態を脱することによって「固有の時間」が解放されたという歴史的事実が忘れ去られ、時計時間という非人間的な時間が入り込むことになったから。
- 5 近代になって「固有な時間」が成立したにもかかわらず、文字通り機械である時計に縛られ、近代的市民社会からゆとりある自由時間というものが失われてしまったから。

問六 傍線部D「関係とともに時間があり、時間とともに関係がある」

とはどういうことか。その説明として最も適当なものを、次の1〜

5のうちから一つ選べ。

1 村人相互の強固な結びつきが個人的な時間を変質させ、関係的な時間の普遍性が確立されていたということ。

2 村の生活には人間関係を円滑に保つための時間が豊富にあり、それが良好な人間関係を育んできたということ。

3 村が共同の仕事場であることが共通の時間意識を芽生えさせ、成因の結束を強固なものにしてきたということ。

4 村人が個人的な時間を村の共同社会の時間に合わせさえすれば、その社会の一員として認められるということ。

5 自然や村人との関わりのなかで一つの時間世界が成立し、その時間世界に基づいて人間関係が形作られるということ。

問七 本文の内容について説明したものとして適当なものを、次の1〜

6のうちから二つ選べ。

1 共有された時間存在が個人のものとなることで近代が始まった。しかし、この時間存在を個人で担うということは近代人にとって重荷以外の何物でもなかった。そこで、人々は共同社会復帰のための武器として万民共通の時間である時計時間を利用するようになった。

2 近代的市民社会では時間は個人的なものとなったが、そのような固有の時間はあくまでも個人的なものでまとまりのないものであった。さらに固有の時間の存在は逆に共通の時間的尺度を必要とし、その結果、時計で計れる時間があたかも唯一の時間であるかのように見なされるようになったのである。

3 共有された関係からの自立とは、共有された時間からの自立であると同時に、共有された人間関係からの自立でもあった。ここに近代という時代の困難があった。人々は時間的な面での自由を得たかわりに他者との人間的なつながりを失うことになり、誰にも看取られぬ孤独な死を迎えることになった。

4 近代の時間は共有された時間を個別の個人に分割する形で生じた。この時間の分割は共同社会に生きる人々の団結を破壊するという事態を生むことになったが、一方では、男女、子供を問わず社会的な平等を実現するという役割を果たすことになった。

5 個人の時間は、関係的な時間のなかに埋もれていた個人の時間を解放することによって成立した。この近代に特徴的な時間は、その成立と同時に不安と孤独の意識を生じさせることになった。近代は、人々が社会的なつながりを求め、賃動労という形での社会参加を目指した時代であった。

6 近代は共同社会の共有された関係から人々が脱し、個人の独立が達成された時代と考えられる。しかし、この過程で人々に個人的な時間の終了を意味する死への不安が芽生えたほか、個人的な時間の確保のためには時間の売買をしなければならぬという矛盾した現象が生じることもあった。

国 語 (二次試験)

| |
|------|
| 受験番号 |
| |

| |
|----|
| 氏名 |
| |

| |
|----|
| 得点 |
| |

| 六 | | | 五 | 四 | 三 | 二 | | 一 | | |
|----|----|----|---|---|---|----|----|---|---|---|
| 問三 | 問二 | 問一 | ① | ① | ① | ⑥ | ① | ⑪ | ⑥ | ① |
| | ア | ア | | | | | | | | |
| 問四 | | | | ② | ② | | | | | |
| | イ | イ | | | | かな | い | | | |
| 問五 | | | ② | ③ | ③ | ⑦ | ② | ⑫ | ⑦ | ② |
| | ウ | ウ | | | | | | | | |
| 問六 | | | | ④ | ④ | | | | | |
| | エ | エ | | | | ち | でる | | | |
| 問七 | | | ③ | ⑤ | ⑤ | ⑧ | ③ | ⑬ | ⑧ | ③ |
| | | オ | | | | | | | | |
| | | | | | ⑥ | | | | | |
| | | | ④ | | | れ | げる | | | |
| | | | | | ⑦ | ⑨ | ④ | ⑭ | ⑨ | ④ |
| | | | | | ⑧ | | | | | |
| | | | ⑤ | | | ⑩ | ⑤ | ⑮ | ⑩ | ⑤ |
| | | | | | ⑨ | | | | | |
| | | | | | ⑩ | | | | | |
| | | | | | | | める | | | |